

折り紙手品～不思議なドア～

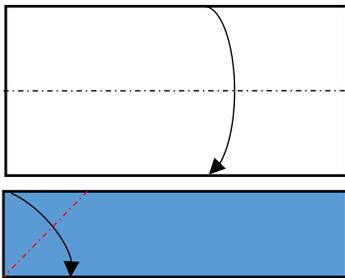
青森・野呂茂樹

ドアを開閉すると中の印が移動したり消えたりします。

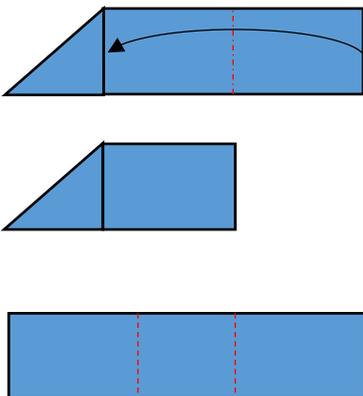
古くから知られている手品ですが、名称は不明なので、参考文献のものを使用しました。

【つくり】

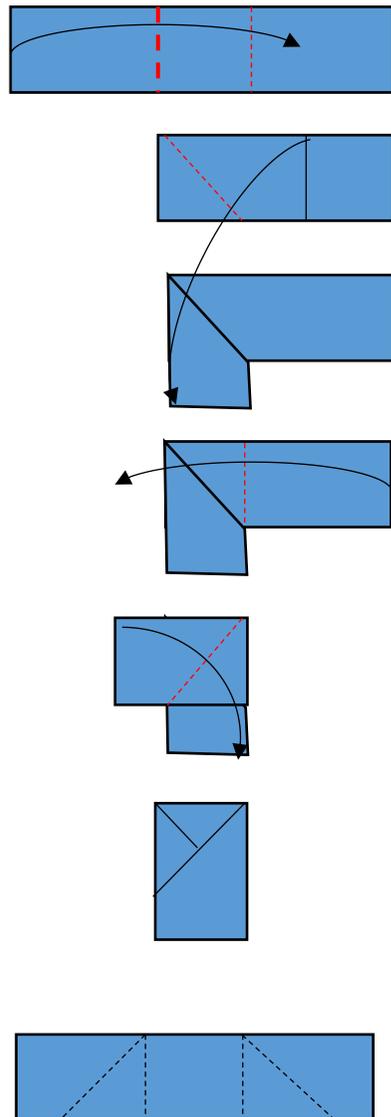
- ① 折り紙に半分を使います。
- ② 2つに折ります。



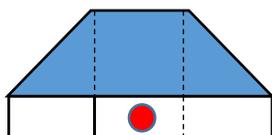
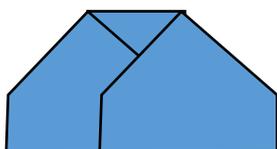
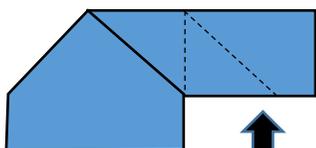
- ③ 一端を三角形に折ります。
- ④ 他端を三角形の端に合うように折り、しっかり折り目をつけます。
- ⑤ 反対側も同じように折り目をつけます。



- ⑥ 一端を折り目で折ってから、斜めに折り返し、しっかり折り目をつけます。
- ⑦ 反対側も同じように折り目をつけ、開きます。



- ⑧ 一端の内側に指を入れ開いて、家のような形にします。
- ⑨ 反対側も同じようにします。
- ⑩ 裏返して、中央に印をつけます。

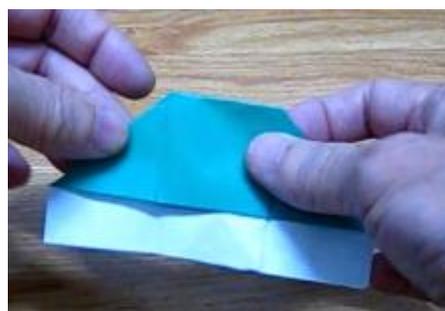
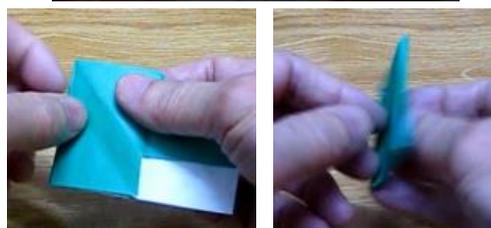


【やり方】

- ① ドアを閉じて、全体を奇数回ひっくり返します。
- ② 開くと、印が端へ移動しています。
- ③ また閉じて、全体をひっくり返します。奇数回ひっくり返すか、偶数回ひっくり返すかで、ドアを開いたとき印の位置が異なります。
- ④ 印が端にあるとき、ドアの閉じる順

序（印のあるドアから閉じるか、印のないドアから閉じるか）で、全体をひっくり返した後、ドアを開くと、印が現れたり消えたりします。

*手順を工夫しましょう。



*** 動画**

<https://youtu.be/Cngg26iciOY>

「参考文献」

- ・田岡道吉「不思議なドア」
（ものづくりハンドブック 7・仮説社）